

令和5年度 学校評価自己評価表

学校教育目標
 気づいて 考えて やってみる！
 — 自分を大切に 人を大切に 力を合わせて —

めざす子供像
 ○ チャレンジする子
 ○ 思いやりのある子
 ○ 考え学び合う子
 ○ 健やかな子

めざす学校像
 ○ 子供が主役の学校
 ○ 出会いと感動のある学校
 ○ 地域と共に歩む学校

めざす教職員像
 ○ 確かな授業力を持つ教職員
 ○ 豊かな人間性を持つ教職員
 ○ 愛情と使命感に満ちた教職員

分かる喜びを味わい、確かな学力を身に付けた
 「自ら学ぶ学習者」の育成

中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための計画	評価指標(評価方法)	担当	目標値	自己評価(最終)		来年度に向けて
						達成度	評価	
教科等での学びを充実させ、生きる力の基礎となる学力を身に付けた児童を育成する。	○基礎基本の学力の定着を図る。	・加計小学習の基本スタイルをつくり、全校で取り組む。 ・県の事業「特別支援教育の考え方を生かした個別最適な学びプロジェクト」を活用し、授業改善を行う。 ・自由進度学習+協調学習+個に応じた指導=加計小型自由進度学習の確立をめざす。 ・学年ブロック会の充実を図り、常に相談、連携、協力できる横のつながりをつくる。	・単元末テストにおいて、正答率80%以上の児童の割合。 ・標準学力調査で評定2以上をとる児童の割合。	教務部	75%以上 70%以上	103% 98%	A A	・学力の定着が難しい児童について手立ては講じているが、なかなか実を結んでいないのが実情である。一人一人が何てつまづいているのか丁寧に分析するとともに、様々な学び方から自分にあった学び方を選ぶように授業を工夫していく。 ・授業の中で、意図的に友達と協力して問題を解く時間を設定し、教え合いを通して理解を確かなものにさせたり、友達の考えや説明を聞くことで理解が深まるようにしていく。 ・子どもたち一人一人が自分の学習状況について把握し、目標をもって取り組めるようにしていく。
自他を尊重する豊かな人権感覚を持った児童を育成する。	○自己指導能力の育成を図るとともに、思いやりの心を育てる。	・委員会活動の中で「加計っ子五つの約束」(挨拶・返事・履物そろえ・黙動・時間)についてプロジェクトを立ち上げ、全校で取り組む。 ・縦割り班活動の活性化を図り、学年を超えた交流活動を工夫する。	・i-checkにおける「自己肯定感」のスコア80%以上の児童の割合。 ・i-checkにおける「思いやり」のスコア80%以上の児童の割合。	生徒指導部	80%以上	108% 111%	A A	・「加計っ子五つの約束」(挨拶・返事・履物そろえ・黙動・時間)の活動について各委員会の関連性を確認しながら取り組むことが難しく、委員会に任せる形になっていた。児童会組織を生かしてイベントなどの内容を決定するとともに、目的を持って啓発していくようにしていく。 ・縦割り班活動の場が掃除や集会の場面に限られた。より多様な活用場面を工夫し、児童同士が関わり合い、互いを思いやることのできる場面を工夫していく。
健康・安全への知識と意識を持ち、自らの生活をよりよくする実行力のある児童を育成する。	○体力の向上を図り、心と体を整える。	・新体力テストの課題のある項目に対する重点的な取組を通して体力の向上を図る。 体力テスト(5月)課題項目の決定 再体力テスト(10月・1月)指標の成果の確認	・新体力テストの課題とした項目において、前回の自己記録を上回った児童の割合75%以上	保健体育指導部	75%以上	116%	A	・日常的に走の運動を高める取組を継続して行う必要があると考え、マラソン大会後も週3回の集団マラソンを継続した。業間に走ることを楽しみにして外に出る児童が増えた。 ・再体力テストの結果、自己記録を上回る児童が増えたのは、体力づくりコーナーを交流ホールにつくったことで、手軽に測定ができ、長座体前層測定や握力測定の器具や測定方法に慣れたことが理由であると考えられる。また、クラスでの呼びかけがあったことや友達と一緒に休み時間に手軽にできたこともよかった。 ・次年度は、季節(夏季の熱中症・冬季のグランドや感染症など)や行事を考えながら、日常的にできる運動を組み合わせて、児童の体力の向上を図りたい。
地域とつながり、教育実践を通して信頼される学校を構築する。	○教職員一人一人が「やりがい」をもって学校運営に参画する。	・学年ブロック会・分掌部会等の横のつながりを大切にして協力して仕事が行えるようにする。お互いを知り、自分の役割を果たすと共に、しっかりコミュニケーションをとり、子ども達の指導にあたっていく。 ・Google Classroom等を有効に活用し、情報の共有化を図り、教職員が同じ方向に向かって仕事が行えるようにする。 ・マーチングバンド・加計小百句苑・キャリアボード(1年間で出会った方々の見える化)で地域とのつながり、開かれた学校づくりを推進していく。	加計小業務改善アンケートにおいて「自分の業務にやりがいをもっている」の項目における肯定的評価の割合	総務部	85%以上	110%	A	・今後も学年ブロック会・分掌部会等の横のつながりを密にしていき、互いのよさが発揮できる教職員集団へと高めていく。 ・学校評価アンケートに寄せていただいた保護者の意見や要望に丁寧に答え、今後も保護者の相談にはすばやくチームで対応し、保護者と協力して課題解決ができるようにしていく。 ・総合的な学習の時間や生活科での学習の取組の様子や児童の作品等を積極的に保護者へ公開し、学校の取組について知ってもらうとともに、家庭でも地域のことを話題にってもらう機会をつくる。今後も探究的な学習の取組を充実させ、地域のよさを語ることで児童の育成を図る。 ・俳句づくりが今後も継続していけるように、授業への位置づけや、取組の方法についてさらに改善していく。